

# 4歳児

前期(4月～10月)



自分から周囲に積極的にかかわっていくとき  
ためらいが出始め、周囲を見て行動すること

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
自分のことは 自分です	情緒	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育室の環境や生活の仕方に少しずつ慣れ、保育者に親しみや信頼感をもって、安心して過ごせるようになる。</li> <li>かんしゃくを起こしたり泣いたりすることがあるが、状況を言葉で伝えたと理解し、納得できることが増える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの興味や実態を把握し、思いに寄り添いながら一緒に遊ぶ中で、信頼関係を築く。</li> <li>自分の思い通りにならない経験も大切にし、周りの状況や友達の思いなどに気付かせたり、気持ちがおさまるまで待ったりする。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>走る、跳ぶ、スキップするなど、いろいろな動きを楽しむようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達と一緒に、思いきり走ったり跳ったりする中で、体を動かして遊ぶ心地よさが味わえるようにする。</li> <li>好きな遊びの中で多様な動きを経験できるように環境や遊びを工夫する。</li> </ul>
健康で安全な 生活をする	排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で上手に排泄の始末をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拭き方、トイレトペーパーの使い方を丁寧に知らせる。</li> </ul>
体を十分に動かし、進んで 運動しようとする	食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手な食品も少しは食べられるようになる。</li> <li>箸を使って食べることができるようになる。</li> <li>* P27 コラム参照</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>少しでも食べられた時は一緒に喜び、大いに褒め自信へとつなげる。</li> <li>箸の持ち方や使い方等、その都度知らせる。</li> </ul>
	着脱	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱いだ衣服を畳む、ボタンのかけはずしをすることができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でしようとする意欲を大切に見守り、繰り返し知らせる。</li> </ul>
	物の始末	<ul style="list-style-type: none"> <li>片付け方がわかるようになり、自分でしようとする姿が見られるようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の始末の仕方や手順が分かるように、視覚的な教材を用いて知らせ、できているかを確認する。また、幼児が自分でできるように片付けの動線に配慮する。</li> </ul>
	手洗い・うがいなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人で歯磨きをしようとする。</li> <li>ぶくぶくうがいやがらがらうがいができるようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>鼻や口の周りが汚れていないか鏡の前で確認させ、清潔にすることの気持ちよさを知らせていく。</li> </ul>

## もできるようになる4歳児



### 家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもがかんしゃくを起こしたり泣いたりしている時は、落ち着いて<u>子どもの思いを受け止め、穏やかな口調で話すよう心がけましょう。</u></li> <li>• なぜよくないのか、理由や状況を分かりやすく伝えるようにしましょう。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 歩いて登降園するようにしましょう。継続して歩くことで、体力が向上します。</li> <li>• 心地よい気候の日は、<u>外で遊ぶ機会を大切にしましょう。</u>また、安全に遊べるよう見守りましょう。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>排泄の始末ができていないかを確認し、難しい場合はその都度拭き方やトイレトペーパーの使い方を知らせていきましょう。</u></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 苦手な食品は、一口でも食べられるようにしましょう。</li> <li>• 箸を使って食事する機会をつくり、箸の使い方を知らせましょう。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 衣服の着脱では、自分でやろうとする意欲を大事にして、見守りましょう。</li> <li>• 園に持って行くものの場所を決め、<u>子どもが自分で支度ができるようにしましょう。</u></li> <li>• 使ってよいものや玩具、ハサミ等の用具の場所を子どもに知らせたり、一緒に決めたりしましょう。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 鏡を見て自分で歯を磨かせ、磨いた後は、<u>大人がしっかりと仕上げ磨きをしましょう。</u></li> </ul>

# 4 歳児

前期(4月～10月)



自分から周囲に積極的に関わっていくとき  
ためらいが出始め、周囲を見て行動すること

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
好奇心や探究心をもって、ものに関わる	遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きな遊びを繰り返し楽しむようになる。</li> <li>保育者や友達と一緒に歌ったり、踊ったりすることを楽しむようになる。</li> </ul>   <p>いらっしやませ! ハンバーガー ひとつ ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな遊びを繰り返し楽しめるよう、興味や関心に合わせて、遊びの環境や援助を工夫する。楽しんでいる姿や、周りの遊びを見て、自分からやってみようとする姿を認める。</li> <li>ままごとやお店屋さんなど、イメージをもって遊ぶ楽しさが味わえるよう、保育者も役になりきって遊び、遊具や素材を用意する。</li> <li>保育者と一緒に、季節や生活に関連した歌を歌ったり、音楽に合わせて踊ったりする機会をつくる。</li> </ul>
感じたこと、考えたことを言葉で伝える	自然との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に興味をもつようになる。</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培物の世話や、虫探し、草花を使った遊びなどの自然とかわる機会を増やし、親しみをもてるようにする。</li> </ul>
文字や数量などの感覚を豊かにする	言葉・文字や数量など	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞いたことや覚えたことを積極的に使って話すことを楽しむようになる。</li> <li>友達に自分の思いを出せるようになる。</li> <li>読み聞かせを聞いて、絵本のストーリーを楽しんだり、想像をふくらませたりするようになる。</li> </ul>  <p>すいかも 「す」から はじまる しりとりしようよ 「す」が つくのは すいとう!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぞなぞ、しりとり、言葉集めなど、生活の中で、言葉のおもしろさを楽しめるようにする。</li> <li>正しい言葉遣いや気持ちのよい話し方を知らせる。</li> <li>自分の思いや考えを言葉や動きで伝えようとする姿を支援、自分の思いが友達に伝わったり、遊びの中で自分の考えたことが実現したりする喜びを味わえるようにする。</li> <li>様々な種類の読み聞かせをとおして、興味の幅を広げるようにする。</li> </ul>

## もできるようになる4歳児



### 家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- 子どものイメージの世界を見守りながら一緒に役になりきって遊んだり、言葉のやりとりを楽しんだりしましょう。
- 園で覚えてきた歌を聞いたり、一緒に歌ったりしてみましょう。
- やってみたいという気持ちを認め、褒めてあげましょう。



- 四季折々の自然（つばみ、花、木、葉、雨、水たまり、風など）や生き物（アリ、ダンゴムシ、カタツムリ、バッタなど）に親しみましょう。子どもの気付きや喜びに共感し、おうちの方が感じたことを具体的な言葉で伝えていきましょう。



- おしゃべりを楽しむ中で、場にそぐわない言葉を遣ったときは、その都度知らせましょう。大人もよい言葉遣いを意識し、優しい言葉を掛けるなど、子どもの見本になるようにしましょう。
- 子どもが思いを言葉や動きで表そうとしているときは先回りせずに待ちましょう。
- 図書館に行くのもおすすめです。子どもが好んで選ぶ絵本や図鑑などから興味をもっている世界を一緒に楽しみましょう。

# 4歳児

前期(4月～10月)



自分から周囲に積極的に関わっていくとき  
ためらいが出始め、周囲を見て行動すること

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
あいさつをする  人と関わる  きまりや約束を守る	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人と自然にあいさつを交わすようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧なあいさつが習慣付くよう、かしまった場や目上の人などに対するあいさつの仕方も、繰り返し知らせる。</li> </ul>
	友達	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達との関わりが楽しくなり、次第に気の合う友達と2～3人で一緒に遊ぶようになる。</li> <li>友達に対して好き嫌いなどの感情を表すようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と安心して遊べるよう、遊びの場を区切り、友達との関わりが十分に楽しめるようにする。</li> <li>友達への素直な気持ちを受け止めながら、自分のことに置き換え、相手の気持ちや言い方について気付かせる。</li> </ul>
	きまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団生活をする上でのきまりや、遊びの中で簡単なルールを理解し、守ろうとする。</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びや生活の中で、順番を守ったり交代して使ったりする機会をつくる。</li> <li>園外での約束事を確認し、守る必要性を考えさせ、安全に行動することの大切さを繰り返し伝える。</li> </ul>

# もできるようになる4歳児



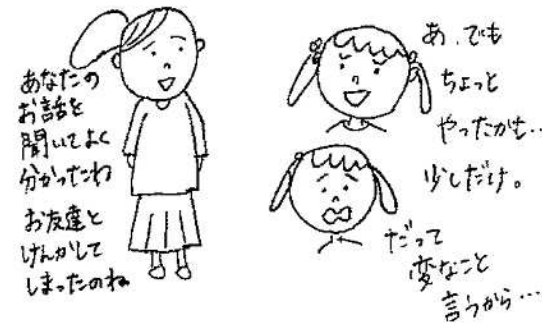
## 家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- あいさつは相手とのコミュニケーションの第一歩です。自然にあいさつが出てくる姿を「上手にできたね。」「自分から言えたね。」などと認め、あいさつをすることの大切さや心地よさを繰り返し伝えましょう。



- 友達と思いがぶつかることも大切な経験です。先回りして大人が解決をするのではなく、子どもが話しているときには、言い分を聞いてあげましょう。自分の思い通りにならなかった気持ちから、事実と異なることを言ったり、あたかも見ていたかのように話したりすることもあります。日頃から子どもの話をよく聞き、思いをたくさん受け止めましょう。



- ルールのある遊び（交代や順番など）を、一緒に楽しみましょう。ルールを守ることで気持ちよく、楽しく遊べることを伝えていきましょう。



- 図書館や病院に行ったとき、バスや電車に乗ったときなど、公共の場所でのマナーや約束について、大人がきちんと守る姿を見せながら、その都度知らせていきましょう。

# 4 歳児

後期(11月～3月)



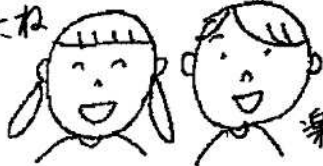


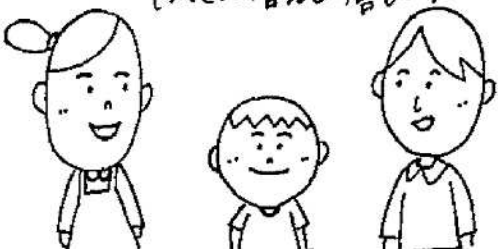
自分から周囲に積極的に関わっていくとき  
ためらいが出始め、周囲を見て行動すること

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
自分のことは自分です	情緒	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会を経験して、学級としてのまとまりが出始め、みんなで過ごすことが楽しくなる。</li> <li>進級への期待感が増し、生活に必要なことを自分たちでやってみようようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級全体で取り組む活動や遊びを取り入れて、大勢と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるようにする。</li> <li>準備や片付け、当番活動など、遊びや生活に必要なことを進んでやろうとする姿を認め、満足感や達成感を味わえるようにする。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児からの刺激を受けて、さらに進んで体を動かし、いろいろな運動的な遊びにチャレンジするようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>広い場所を活用して鉄棒、うんてい等の遊具やボール等を使って遊ぶほか、年長児が取り組んでいる短縄や長縄、竹馬などに触れて、挑戦してみようとする気持ちを引き出す。</li> </ul> 
健康で安全な生活をする	排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレを汚さずに使えるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレをきれいに使う心地よさを知らせる。</li> </ul>
体を十分に動かし、進んで運動しようとする	食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>マナーが分かり、食事の習慣が身に付くようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事を作る人への感謝の気持ちをもてるように話をしたり、マナーや箸の持ち方、使い方を知らせたりする。</li> </ul>
	着脱	<ul style="list-style-type: none"> <li>手先が器用になり、ファスナーやボタン等、自分でできるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上着のファスナーやボタン等の少し難しいことも、自分でできるように見守る。</li> </ul>
	物の始末	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の身の回りの片付けを進んで行うようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで片付ける姿を認め、きれいになった気持ちよさを共有する。</li> </ul>
	手洗い・うがい	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の健康や成長に興味をもち、うがいや手洗いを自分からするようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に合わせた健康な過ごし方や風邪の予防について、機会を捉えて知らせ、うがいや手洗いが丁寧に取り組んでいるか見守る。</li> </ul>
	当番・手伝い	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の当番活動を意欲的に行い、人の役に立つことを喜ぶようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識をもって当番活動に取り組めるようにする。</li> </ul>

## もできるようになる4歳児



### 家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）

<p>明日も楽しみだね</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 翌日の遊びに期待感がもてるように、いろいろな感情を受け止めじっくりと話を聞いてあげましょう。</li> <li>• <b>できるようになったことは、十分認めて自信をもたせましょう。</b></li> <li>• おうちの方も、進級することを一緒に楽しみにしましょう。</li> </ul>
<p>できたね</p>  <p>楽しかったね</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 休日には、公園などで体を動かして遊ぶ機会をつくりましょう。</li> <li>• 「やらない。」「できない。」など言うことがあっても、「一緒にやってみよう。」など声を掛けてみましょう。</li> </ul>
<p>よじしゃつた</p>  <p>よく言えたね</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トイレを汚してしまったときには、自分から言えるようにして、次に使う人が心地よく使えるように、使い方を丁寧に教えましょう。</li> </ul>
 <p>食べ方が上手になってきたね</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 楽しい雰囲気の中で一緒に食べながら、箸の持ち方や姿勢、食べ方等を丁寧に知らせましょう。</li> </ul>
<p>着替えが上手になったね 自分でできるようになってきたね たくさん増えて嬉しいね</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身支度、着替えなど、自分で取り組む時間をとりましょう。</li> <li>• 自分でできているときは、たくさん褒めてあげましょう。</li> <li>• 進級する前にこれまでに身に付けてきた生活習慣を、もう一度見直しましょう。</li> <li>• 食事前の台拭きや、洗濯物を畳むなど、家庭でも簡単なお手伝いを頼み、「ありがとう。」「助かったわ。」と、感謝の気持ちを伝え、人の役に立つ嬉しさや満足感を得られるようにしましょう。</li> </ul>

# 4歳児

後期(11月～3月)



自分から周囲に積極的に関わっていくとき  
ためらいが出始め、周囲を見て行動すること

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
好奇心や探究心をもって、 ものに関わる	遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>「〇〇ごっこ」などイメージのある遊びを楽しんだり、自分なりに試したり工夫したりして遊ぶようになる。</li> <li>自分と相手との思いの違いがあることが分かるようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に「〇〇ごっこ」などの遊びを楽しめるよう、遊びの拠点となる遊具(積み木、ベンチなど)を用意したり、遊びのイメージをより広げたり深めたりできるように様々な素材を用意する。</li> <li>劇など様々な表現遊びを発表する機会をつくる。</li> </ul>
	自然との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然や季節の変化に興味や関心を持ち、遊びに取り入れる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然物と素材を組み合わせ、製作が楽しめるようにする。</li> <li>季節ごとの行事や遊び、毎日の天候や霜柱や氷などの自然現象との出会いを大切に、関心をもてるようにする。</li> </ul> 
感じたこと、 考えたことを 言葉で伝える	言葉・文字や数量など	<ul style="list-style-type: none"> <li>その日や過去の出来事などを自分なりの言葉で友達に伝えるようになる。</li> <li>文字や数、事象や物事に対して、ますます興味が広がる。</li> <li>絵本やお話などイメージをふくらませて楽しむようになる。</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>その日に楽しかったことなどを、みんなの前で話す機会を設け、聞いてもらう嬉しさが感じられるようにする。</li> <li>幼児の興味に合う図鑑や絵本を用意し、遊びや生活の中で、無理なく数や文字に触れられるようにする。</li> <li>不思議に思う気持ちに共感したり、一緒に考えたりしながら、幼児が知る喜びを味わい、興味・関心をもって物事に関わることができるようにする。</li> <li>みんなで一緒に絵本やお話などの世界に浸り、自分なりの想像をふくらませながら楽しめるように、落ち着いた雰囲気の中で読み聞かせをする。</li> </ul>

## もできるようになる4歳児



### 家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- 親子でたくさんの会話を楽しみましょう。
- 周りの子どもと比べず、**我が子なりの表現を認め、楽しさに共感してあげましょう。**
- 子どもの気持ちに寄り添い、話をじっくりと聞くようにしましょう。
- 友達との意見の食い違いやいざこざはあります。相手の思いを代弁するなどして、友達の思いにも気が付くことができるようにしましょう。園での様子で気になることや心配なことがあれば遠慮なく園にお尋ねください。



- 近隣の公園や外出先など、家族でドングリやマツボックリなどの自然物を採取するなどして興味や関心に共感したり、一緒に楽しんだりしましょう。
- 登降園の際に「いい天気だね。」「今日は涼しいね。」「風が強いね。」など、一緒に自然現象へ興味を向けてみましょう。



- 話の先を急いだり、答えを先に言ってしまったりするのではなく、大人が聞き上手になり、**子どもが自分で考えて話せるような会話を心がけましょう。最後まで聞き、受け止めることが大切です。**
- 親戚や知人の集まりなどで、親子で一緒にあいさつをしたり、名前を言うきっかけをつくったりしてみましょう。
- 遊びや生活の中で文字や数量に興味をもってきたときに、文字を使う楽しみ、文字で伝える喜びを一緒に体験していきましょう。また比べたり数えたりするなどして、数や量に親しみましょう。
- しりとり遊びや逆さ言葉遊びなど、家族で遊んでみるのもよいでしょう。

# 4歳児

後期(11月～3月)



自分から周囲に積極的に関わっていくとき  
ためらいが出始め、周囲を見て行動すること

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
あいさつをする 人と関わる きまりや約束を守る	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達に進んであいさつをするようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節や場面に応じたあいさつがあることを知らせる。来園者や地域の方にも進んであいさつをするよう働きかけ、保育者も気持ちよくあいさつをする姿を見せる。</li> </ul>
	友達	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで取り組む遊びや活動に期待感をもち、積極的に関わるようになる。</li> <li>友達と同じ気持ちであることを喜んだり、自分とは異なる思いをもつ友達がいることに気付いたりする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級全体で、ダンスや劇ごっこなどの表現遊びや、歌や合奏など音楽的な活動を楽しめるようにする。</li> <li>発表会やお別れ会など、友達と一緒に相談しながら活動を進める経験をとおして、みんなでやり遂げた嬉しさ、認められる嬉しさが味わえるようにする。</li> <li>友達と、前日の続きで遊ぶことができるよう、関係を見守るとともに、幼児同士の触れ合いや関わりを大切に、一緒に遊ぶ楽しさが十分に感じられるようにする。</li> </ul>
	きまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>少しずつ自分の気持ちに折り合いをつけて、我慢ができるようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>「○○ちゃんは～と思うのね。」 「□□ちゃんはどう思う?」 など、自分の考えを出せるような言葉を掛ける。</li> <li>我慢をしてこらえている姿を見逃さず、共感したり認めたりする。</li> </ul>

## もできるようになる4歳児



### 家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）

あけまして おめでとう ごさいます



- 年末年始や親戚が集まったときなど、あいさつができるようにしましょう。大人が気持ちよくあいさつすることも大切です。



- 担任からの話や学級だよりなどをヒントに「今日は何をしたの?」など、園での様子を聞いてみましょう。
- 園生活の中で、友達と一緒に活動することが増える分、葛藤や挫折など様々な感情体験をすることが多くなります。子どもの気持ちに寄り添い見守ってあげましょう。
- 柔軟性を高め、力の加減、タイミングを合わせることなどを経験するため、親子でできるふれあい遊びをたくさんしましょう。
- 子どもの話を聞き、楽しさに共感してあげましょう。



- 相手の気持ちに気付けるような問いかけをするようにしましょう。頭ごなしに叱るのではなく、自分で考える余裕をもたせましょう。
- すぐろくやかるたなど、ルールのある遊びを家族で楽しみながら、順番を守ることや勝てなかった悔しさをこらえることなどを、経験できるようにしてみましょう。気持ちを切り替えられたときには、たくさん褒めてあげましょう。

